

プレスリリース
報道関係者各位

2017FY026
2018/1/22
「新しい東北」官民連携推進協議会

企業・組織×農山村地域＝継続的な win-win の関係を目指す 新しい交流・連携のスタイル「福島県・農都交流セミナー」開催のご案内

福島県では、東日本大震災や原発事故からの一日も早い農林水産業の再生のため、首都圏の企業等と県内の農山村地域がお互いの強みを活かし、継続的な交流や連携を深めることで双方の課題解決を図ろうとする取組を進めております。

このたび、福島県の農山村地域との交流や連携に興味のある企業・組織の皆さまを対象に、農山村地域で企業活動を行う意義やメリット等について、講演や実例の紹介等を通じてご理解を頂きたい、セミナーを開催します。

是非、ご参加を賜りたくお願い申し上げます。

《開催概要》

日時:平成 30 年 2 月 7 日（水）13:00～15:15

場所: TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター 5 階「ホール 5B」

（東京都中央区八重洲 1-2-16 TG ビル 5 階）

参加費: 無料

募集定員: 70 名（事前申込制）

概要は添付資料をご参照ください。

【本件に関する報道関係の問合せ先】
農都交流プロジェクトセミナー受付事務局
（JTБ コーポレートセールス霞が関第一事業部内）
担当: 吉岡、石井
TEL: 03-6737-9261
Email: t_ishii560@bwt.jtb.jp

※当プレスリリースは「新しい東北」官民連携推進協議会の事務局が協議会会員に代わって発信するものであり、内容についてのお問合せは上記問合せ先へお願いします。

企業・組織×農山村地域＝継続的なwin-winの関係を目指す新しい交流・連携のスタイル

福島県・農都交流セミナー開催のご案内

「企業・組織」と「福島県の農山村地域」との交流に関するセミナーを開催します。

福島県では、東日本大震災や原発事故からの一日も早い農林水産業の再生のため、首都圏の企業等と県内の農山村地域がお互いの強みを活かし、継続的な交流や連携を深めることで双方の課題解決を図ろうとする取組み（農都交流事業）を進めています。

福島県の農山村地域で行う企業活動の意義やメリットについて、講演や実例の紹介等を通じてご理解を頂きたい、セミナーを開催させていただきますので、是非、ご参加を賜りたくお願いを申し上げます。

【開催概要】

■ 日 時：平成30年2月7日（水） 13:00-15:15

■ 会 場：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター 5階「ホール5B」

東京都中央区八重洲1-2-16 TGBビル5階

（JR東京駅日本橋口から徒歩4分、東京メトロ日本橋駅から徒歩1分）

■ プログラム：

時間	プログラム	
13:00～13:10	開会・挨拶	
13:10～14:00	◆基調講演 農山村での企業活動における意義とその効果	（株）フォレストハーモニー 代表取締役 猿谷清吾 氏
14:00～14:25	◆福島県の農村と企業との連携事例 農山村との交流による企業価値の向上について 青山フラワーマーケット × 福島県塙町	（株）パーク・コーポレーション （青山フラワーマーケット） 塙町観光協会 鈴木美香 氏
14:25～14:40	◆企業を対象としたモニターツアーの実施について （事例紹介およびツアー効果測定調査）	事務局
14:40～14:55	◆農都交流に取り組むモデル地区の紹介	各モデル地区
14:55～15:10	質疑応答	
15:10～15:15	閉会	

■ 参加費：無料

■ 募集定員：70名

■ 申込方法：裏面をご参照ください。＜申込〆切 1月31日（水）＞

■ 主催：福島県

※プログラムの内容は一部変更となる場合があります。

※福島県の農山村地域との交流や連携に興味のある企業・組織の皆さまを対象としたセミナーです。

モデル地区紹介

□ 三春町(みはるまち)

郡山市の北東部、阿武隈山系の西に位置し、緩やかな山並みが続く中山間地。農業公園「田園生活館」を交流の拠点として、特産品のブルーベリーや各種農産品の収穫体験を盛り込んだツアーを実施しています。交流については、福島県内企業の新入社員研修や都内自治体との連携等を進めています。



□ 塙町(はなわまち)

福島県南部に位置し、総面積の8割が山林で占められています。遊休竹林の竹を活用した竹パウダー(農法)をブランド化し、販売しています。同農法で育てた農産品の収穫や、特産品のダリアの手入れ作業等の体験ができます。ダリアに関しては、その流通を通じて、生花販売会社の研修受入れを行っています。



□ 郡山市逢瀬(こおりやましおうせ)

郡山市の中西部に位置し、名峰安積山の山麓に広がるのどかな田園の町。地区内には農家民宿が5軒あり、農家の方々との団らんを通じた交流や農業、味噌づくり体験の他、各種体験型ワークショップを提供。交流については、首都圏の飲食店や、地域実習として在京の大学生の受入れも行っています。



□ 喜多方市高郷(きたかたしたかさと)

喜多方市の西部に位置し、飯豊連峰からの水に恵まれた土地でお米も美味しく、酒蔵も10を数えます。磐梯山を望む美しい風景の棚田での米作り体験や農家民宿も利用できます。交流については、教育旅行や、県内企業のセカンドキャリア研修等を受入れています。



□ 伊達市霊山(だてしりょうぜん)

福島市の隣、伊達市の東端に位置し、四方を300~500mの山々に囲まれた丘陵地。廃校を活用した体験交流施設「里山がっこう」では料理体験や宿泊の他、あんぼ柿づくり等の各種体験ができます。移住者や二地域居住者が地域の人々と共に田舎暮らしを送り、地域おこしにも携わっています。



□ 二本松市東和(にほんまつしとうわ)

福島市の東部、阿武隈山地の山裾にある農村で、谷に沿って集落と桑畑が点在しています。各種農業体験の他、郷土料理づくり、わら草履づくり等の体験、農家民宿での宿泊ができます。交流については、大学生の地域実習や企業研修の他、最近では、外国人の受入れも行っています。



【農都交流プロジェクトとは】

都市部の企業・組織と県内の農山村地域がお互いの強みを活かし、継続的な交流や連携を深める取組み。都市部の企業・組織が、農山村地域で人材育成(研修)やCSR(社会貢献活動)、福利厚生等の企業活動等を行い、地域との交流・連携を図ることにより、企業・組織と農山村地域の双方が抱える様々な課題の解決を目指す新しい交流のスタイルです。一方的、一過性ではなく、双方向(win-win)かつ継続的な交流・連携の関係構築を目指しています。

●参加費： 無料

●申込方法： 下記アドレス宛、メールにてお申込みをお願い致します。

※メールの件名は「2/7農都交流セミナー(東京)」、本文には氏名、所属団体名、電話番号をご記入下さい。

《お申込先メールアドレス》 t_ishii560@bwt.jtb.jp

※受講票等の発行はいたしません。当日は、直接会場受付にお越しください。

※先着順での受付とさせていただきます(定員になり次第締め切りとさせていただきます。)

●お問合せ： 農都交流プロジェクトセミナー受付事務局(JTBコーポレートセールス霞が関第一事業部内)

(担当)吉岡、石井 (TEL) 03-6737-9261 (メール) t_ishii560@bwt.jtb.jp

(営業時間) 月~金 9:30~17:30